

魅力ある中央図書館建設だより

～未来をはぐくみ、こころの豊かさと新しい価値を創造し、“緑と文化”を象徴する図書館～

発行日 平成 28 年 6 月 13 日

発行元 板橋区教育委員会事務局中央図書館 電話：3967-5261

第1号

板橋区立中央図書館は、ユニバーサルデザインに対応していない施設であり、パソコン席が少ないなど課題が多いため、新たな中央図書館の整備に向けて、「板橋区立中央図書館基本構想」を平成 28 年 3 月に策定しました。

今後は、新たな中央図書館を平和公園（常盤台四丁目 3 番）敷地内の一部に建設するため、「板橋区立中央図書館基本計画」を策定する予定です。

平成 32 年度中の開館を目指して、今後の中央図書館の建設に向けた取り組みについて「魅力ある中央図書館建設だより」を発行し、お知らせします。

新たな中央図書館の建設に向けて策定した「板橋区立中央図書館基本構想」の概要をお知らせします。

1.これまでの検討の経緯

- ・板橋区立中央図書館は、施設、設備の老朽化が進みユニバーサルデザインへの対応が充分ではない
- ・区民の様々な課題の解決支援や ICT 化への対応、学習スペースの確保などに課題



- ・平成 25 年度 「中央図書館機能のあり方検討会」
- ・平成 26 年度 「今後の中央図書館の施設等検討会」



今日的課題にも対応した、魅力ある新たな板橋区立中央図書館の建設に向けて、「中央図書館基本構想検討会」を設置し、中央図書館基本構想を検討



2.板橋区立図書館の現状と課題

中央図書館、地域図書館、いたばしボローニャ子ども絵本館の主な課題

中央図書館	・ 建築後 46 年経過し老朽化、エレベーターの設置がないなど ユニバーサルデザインへの対応が不充分 ・ 収蔵容量、学習スペース、交流スペースが少ない
地域図書館	・ 利用者ニーズに応えたイベント実施等による利用促進
いたばしボローニャ 子ども絵本館	・ 閲覧スペース、書棚が少ない ・ 海外の貴重な絵本を紹介する企画展示・イベントの実施スペース が少ない

3.新たな中央図書館の基本理念と重点テーマ

基本理念

未来をはぐくみ、こころの豊かさと新しい価値
を創造し“緑と文化”を象徴する図書館



未来をはぐくむ

次代を担う子どもたちの未来をはぐくむために、読書・学習環境を整備します。

心の豊かさと

新しい価値を創造する

こころの豊かさを深め、新しい価値を創造するため、読書や様々な活動を行い、資料やレファレンスで課題を解決します。

“緑と文化”を象徴する

“緑と文化”の象徴として、緑の中で区の歴史・文化・資源や海外絵本などの展示やイベントを実施し、区の魅力を情報発信します。

重点テーマ・実施事業

生涯を通じこころの豊かさを支える図書館	<ul style="list-style-type: none"> ① 豊富な蔵書構成、図書等資料の充実 ② 利用者に応じたきめ細やかなサービス・事業による生涯学習機会の提供 ③ 図書館利用を促進するためのきっかけづくり（新規） ④ 図書館ボランティア活動の場を確保し社会参画の機会を提供
課題解決型図書館	<ul style="list-style-type: none"> ① 課題解決をサポートするためのレファレンスサービスの充実 ② 他自治体図書館や関係機関との連携の強化 ③ ICTを活用した資料確保とインターネット環境の整備（新規）
学校・家庭と連携する図書館	<ul style="list-style-type: none"> ① 子ども向けの資料・サービスを拡充し、読書活動を支援（新規） ② 家庭・地域・学校と連携した読書活動の推進 ③ 学校のニーズに対応する図書館サービス、学校連携事業の充実
地域のコミュニティ形成を支援する図書館	<ul style="list-style-type: none"> ① 区民が集い、情報交換を行う場と機会の提供（新規） ② 利用者同士の多世代交流の場の確保（新規） ③ 災害時の情報発信などの地域の防災拠点形成（新規）
板橋の魅力“緑と文化”を象徴する図書館	<ul style="list-style-type: none"> ① “水や緑”など環境と調和した心地よく読書できる空間づくり（新規） ② 区の特性となる資料の収集・保存・活用（新規） ③ いたばしBOROニャ子ども絵本館を活用した事業展開（新規） ④ 教育科学館など近隣施設や公園と一体となった新たな連携事業の実施（新規）

4.施設整備計画

◎新たな中央図書館の特色となるエリア

板橋区のシティプロモーションの拠点となる図書館として情報発信をするいたばしプロモーションギャラリーやコミュニティ活性化を支援するいたばしラウンジを設置します。

◎新たな中央図書館の施設規模面積

5つの重点テーマに沿ったエリアの面積を積み重ね、新たな中央図書館の延床面積を4,500㎡～5,500㎡と想定しました。今後、敷地条件などをふまえ、精査していきます。

重点テーマとエリアの相関図



5.新たな中央図書館の実現に向けて

日常的に様々な区民が利用する公園内に板橋区立中央図書館を公園と一体的に整備し、立地を生かした、緑あふれる屋外テラスなどの屋内外が利用できる公園内の図書館を建設します。平和公園については、教育科学館が近接しており、連携した展示の実施、子どもから高齢者まで幅広い区民が参加するイベントの実施など、従来の図書館ではできなかった取り組みが可能です。こうしたことから、平和公園に新たな中央図書館の建築を計画していきます。

【実現に向けた課題】

平和公園の建築場所については近隣の住宅の影響や公園利用状況、樹木の保全、防災面の機能の確保など十分考慮して検討し、平成32年度中の開館を目指して取り組んでいきます。

平和公園の利用状況調査

新たな中央図書館の平和公園内への建設に向けて、平和公園の利用状況を把握するため、アンケート調査を実施します。6月上旬に平和公園及びその周辺での調査とイベント等で利用している団体や周辺の幼稚園・保育園、小・中学校の保護者に対してアンケート調査を行います。

意見交換会（区民説明会）を実施しました

中央図書館基本構想策定に伴い、基本構想の概要説明や今後のスケジュール等についての説明と意見交換会（区民説明会）を平成28年5月23日（月）18：30～21：15に常盤台地域センターで実施し、31名の方が参加されました。

また、5月26日（木）18：30～20：00に中央図書館の周辺の方々と中央図書館移転後の跡地について意見交換会を中央図書館視聴覚室で実施し、16名の方が参加されました。

【5月23日の意見交換会で出された意見（一部）】

- ・建設地は決まっていないとのことだが、早く青写真を出してほしい。
- ・今の平和公園の環境を壊さないでほしい。
- ・住民の意見をもっと聞いてほしい。
- ・平和公園に移転することが決定したのであれば、良い図書館を建設してほしい。
- ・図書館なので蔵書数を増やしてほしい。
- ・今の中央図書館は老朽化しており、施設面で課題が多いので改築することは賛成です。

【5月26日の意見交換会で出された意見（一部）】

- ・常盤台の文化の象徴である図書館の機能が平和公園に移るのであれば、規模は縮小してでも図書館機能は残してほしい。
- ・跡地には、建物は建てないで公園を拡張してほしい。

今後の講演会・意見交換会の予定

【魅力ある図書館づくり講演会】

新たな中央図書館の建設に向けて、図書館と図書（本）に関する講演会を図書館司書の梶川悦子さんをお招きして行います。

- ・日時：平成28年7月14日（木）14：00～15：30
- ・場所：中央図書館視聴覚室
- ・講師：梶川悦子さん（図書館司書）
- ・テーマ：図書館の役割～これからの図書館が目指すもの～
- ・参加方法：当日会場へ

※定員30名です。参加希望者が多数の場合は先着順とさせていただきます。

【意見交換会（区民説明会）】

平和公園の利用状況調査の結果や今後の予定等について意見交換会（区民説明会）を開催します。

- ・日時：平成28年7月30日（土）14：00～16：00（予定）
- ・場所：常盤台地域センターレクリエーションホール
- ・内容：平和公園の利用状況調査の結果、今後の予定など（予定）
- ・参加方法：当日会場へ

「板橋区立中央図書館基本構想」は図書館又は板橋区HPの下記アドレスでご覧になれます。

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/074/074680.html